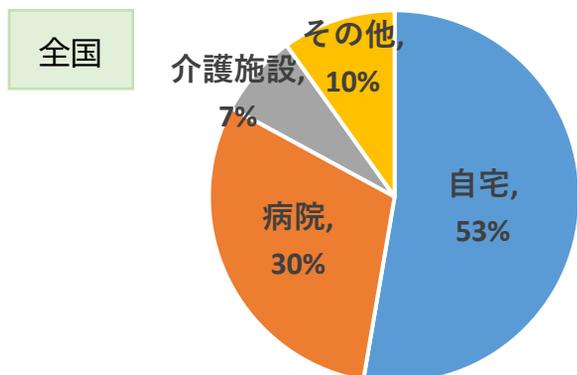


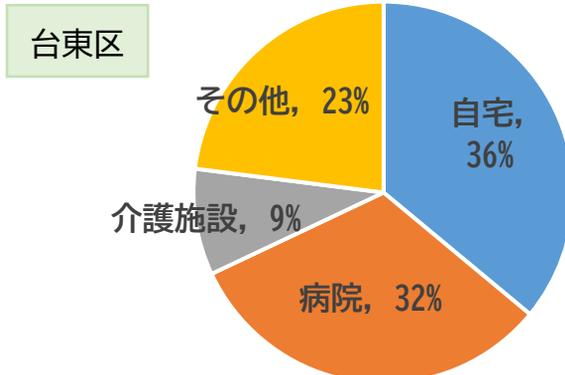
あなたが病気などで人生の最期を迎えるときは、 どこで過ごしたいと思いますか？



全国調査では約5割が、台東区民への調査では約4割が自宅で最期を迎えたいと思っています。



「令和3年人口動態統計」



「令和4年度台東区高齢者実態調査」



もう一度「家」で過ごしたい

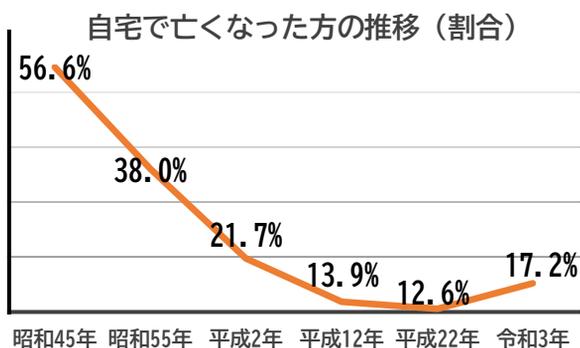
長い間介護施設に入所しているAさんは、「もう一度家で過ごしたい」という強い願いがありました。Aさんは、持病もあり一人で歩くことができません。親族は、Aさんが自宅で1人で暮らすことは不安でしたが、Aさんの願いを叶えるため、家に帰す覚悟を決めました。

自宅での療養生活を送るため、訪問診療、訪問看護、ケアマネジャー、ヘルパー等のサポートを受け、Aさんは家での生活を実現することができました。そしてAさんは、家族との思い出が詰まった家で、静かに息を引き取られました。

親族からは、「本人の強い願いを叶え、家で最期を迎えられて本当に良かった。在宅療養を支えてくださった方々のおかげです」と話されました。

昔は家で亡くなるのが普通でしたが、最近では「病院で亡くなるのが当たり前」になっています。人生の最期を、どこで、どのように過ごしたいか、選択肢は1つではありません。

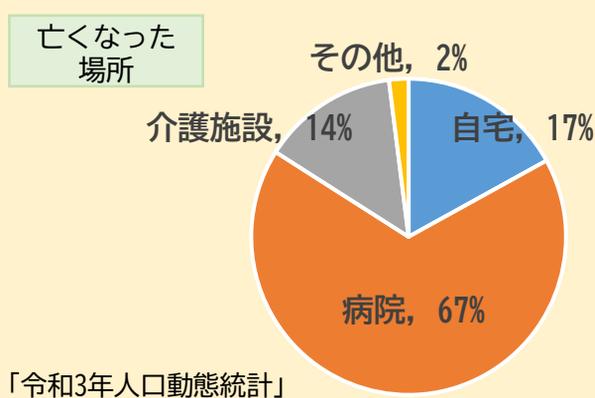
もし「住み慣れた我が家で最期まで過ごしたい」と望むのなら、医療・介護に関わる様々な職種が在宅生活をお手伝いします。**人生の最期の過ごし方について、じっくり考えてみませんか。**



昭和45年 昭和55年 平成2年 平成12年 平成22年 令和3年

「令和3年人口動態統計」

— 全国



「令和3年人口動態統計」

問い合わせ先

台東区在宅療養支援窓口

☎ 03-5603-0235
FAX 03-5603-0236
メール taito-zaitaku@jadecom.jp



在宅療養支援窓口に関する情報は、こちらの台東区ホームページから→



受付時間

月～金曜日 午前9時～午後5時 / 土曜日 午前9時～正午 ※祝日・年末年始を除く